

奥会津だより



野山は百の緑
うぶ毛を纏ったウドの緑は天を指す
手折る一瞬に初夏の香気が放たれ
季節を先取りして食す夕餉の膳が浮かぶ
共に冬を越した感謝と共に

写真：田沼隆之

ひいばあちゃんの青年学校

金山町立金山小学校 六年 目黒 彩恵



この写真は、ひいばあちゃんが二十歳の青年学校を卒業した時のものです。

私のひいばあちゃんは、真ん中の右から三番目です。

青年学校というのは、そろばんや習字や針仕事などを教えるところだそうなんです。ひいばあちゃんは針仕事が好きで、教えてもらっていた先生が、写真の前列の左から二番目のい

づみ先生という人です。いづみ先生は針仕事以外に産婆(さんば)もしていたそうです。主に中川と大志地区を担当していました。

ひいばあちゃんには五人子どもがいてそのうちの四人の赤ちゃんを取り上げてもらいました。残りの一人は、産婆が家に着く前に一人で出産したそうです。昔は今のように入電話がなかったため、ひいじいちゃんが

産婆を歩いて迎えに行ったので、間に合わないことがあったそうです。産婆が来なくて、とても心細くて、死にもぐるいで産んだということなんです。

今の時代は、あたりまえのように病院に入院して先生や看護師のいるところで出産しているけど、ひいばあちゃんのころは自宅での出産をしていたのかと思うと、昔の人はすごいなあと思います。この話を聞いて命の大切さがよくわかりました。

取材ノート

會祖母：目黒 トシノさん

(大正九年生 九十七歳)

ひ孫：目黒 彩恵(さえ)さん

(平成十六年生 十二歳)

(金山中一年)

Q：生年月日を教えてください。

Tシノさん：大正九年一月一日生まれ、九十七歳です。一月一日、「年の初め」で「トシノ」となりました。

Q：ひ孫の彩恵さんが書いた文章を見て、どうでしたか？

Tシノさん：昔の事になったなあ。私とこの人(写真を指差しながら)だけです、今生きているのは…。

Q：中川青年学校のこと、お聞かせ下さい。

Tシノさん：そこにあつたの。今、体育館になつてるところ。松の木が四本あつて、ずい学校だつた。

Q：産婆さんが間に合わなかつたのは、何番目のお子さんの時ですか？

Tシノさん：三番目の生まれた時で、生まれたらじきに産婆さんが入つてきやつた。

Q：産婆さんが来ない時にはどんな気持ちでしたか？

Tシノさん：頑張るしかねえ、一人で頑張るしかねえなあ、と思つてなあ。本気だつたの。

Q：その時、周りには誰がいましたか？

Tシノさん：誰もいねえ、誰も

Tシノさん：こめらだつたからなあ、いづみ先生は産婆さんで金山中を歩きやつたなあ。そして、針仕事の上手な先生で、頭下げて見てもらいに行くと、ここが出るのかここが悪いとか、縫い方がなあ…。そこを直していくと「いいいい、出来た。」なんてなあ。

Q：金山には、産婆さんは、何人いたのですか？

Tシノさん：ヨコマチの方に一人いやつたんでねえがな。でも、いづみ先生が町中歩いていたな。

Q：いづみ先生は、いつ頃まで産婆をやつていましたか？

Tシノさん：そうだなあ、ウチの五番目の子が丈夫になつたからお礼参りに行つたの。その頃七十歳過ぎていたな。

Q：中川青年学校はどこにあつたのですか？

Tシノさん：そこにあつたの。今、体育館になつてるところ。松の木が四本あつて、ずい学校だつた。

Q：産婆さんが間に合わなかつたのは、何番目のお子さんの時ですか？

Tシノさん：三番目の生まれた時で、生まれたらじきに産婆さんが入つてきやつた。

Q：産婆さんが来ない時にはどんな気持ちでしたか？

Tシノさん：頑張るしかねえ、一人で頑張るしかねえなあ、と思つてなあ。本気だつたの。

Q：その時、周りには誰がいましたか？

Tシノさん：誰もいねえ、誰も

いねえ。じいちゃんは産婆さん迎えに行つていた。

彩恵さん：信じられない。独りでのお産、大変だつたらうな。

Q：孫はかわいい、つて言いますが、ひ孫はどうですか？

Tシノさん：めげえ、かわいいです。

Q：どうしたら、長生きできるのですか？

Tシノさん：じい様迎えに来ねえがなあ、なんて仏様に言つてんだが…。好き嫌

いなく食べています。ゼンマイ・フキ・ワラビは好きだな。たまに、近所にお茶

のみにも行きます。

写真・文責：菅 敬浩

奥会津の植物

〈タムシバ〉

写真・文：新国 勇



山中で真っ先に咲く早春の花。柴状の枝に六花弁からなる純白の花をびつしりつける。奥会津では「コブシ」と呼び、多く咲けば豊作になるといふ。人里近くで似た花をつけるキタコブシは、高木となり開花はタムシバより早い。



野山で遊ぶ 〈クルミの枝の塩入れ〉

スカナ（スイバ）の穂が出る5月中旬頃、クルミの枝を切って樹皮に筋を入れ、丁寧に木の枝で叩いて回すと芯の部分が簡単に抜ける。蓋にする芯を残し、筒状に抜けた樹皮の底に割りぬいた木をはめ込むと鞘状の容器になる。樹木に水が上がっているこの季節にしか作れない塩入れを持って、スカナに塩をつけて食べるのが山遊びの楽しみだった。



山菜が盛り！

裏庭の土手にはウド、畑の淵にはシオデ。充分楽しんだコトミは大きなシダになった。山は食べ物の宝庫。

奥会津の生き物

〈キビタキ〉

写真・文：新国 勇



黄色い胸に橙色の喉が目立つ夏鳥。奥会津ではかつてヒアカシと呼んだ。暗い林内で、火を灯したように赤い喉を見れば、なるほど火明かしと合点がゆく。落葉広葉樹の森林を好み、初夏のブナ林では常連。ポッピーリ、ポッピーリと、澄んだ声でリズムカルにさえずる。福島県の県鳥。



奥会津の食材と料理

ウワミズザクラの塩漬け

ウワミズザクラが咲くと芳しい香りの風を生む。花穂を塩漬けにして、花の部分の穂から外し、レモンと紅花油で和えると香りのよいドレッシングに。味噌とみりんを煮詰めて刻み入れると、田楽や冷奴などに万能の味噌ダレに。香りを楽しむには、その都度使うのがよい。



暮らしの道具

写真・文 竹島善一

直播じかまきされた小さな田の稲いねを三体の案山カカシ子が守る。切り株が残る手前の田に、人の手が入ることはないだろう。コロガシといわれる除草機も、直播の田では出番がない。水を張った水田に沢山のオタマジャクシが泳いでいた。三条の集落が消えて久しい。

(昭和五十六年六月 金山町三条)

Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「めげえ」

ヒント：P2.「聞き書き」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、三島町の「ブドウツル小籠」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2017年6月20日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号99号で発表いたします。

◎97号「なじょした？」の答え：どうした？

たくさんのご応募ありがとうございました！



読者コーナー



●「子どものいる風景」が好きです。白黒の写真に、その当時のぬくもりを感じます。心がほっこりして、自分の人生を振り返ったりするのが楽しいです。(会津若松市 M.Mさん)

●「一枚の写真から」親子で向き合う時間の大切さを感じました。また、「子どものいる風景」を観て、三世代の生活における伝承・今の核家族・老々介護・家族間のコミュニケーションのあり方を考えさせられました。(茨城県ひたちなか市 I.Jさん)

●隅から隅まで読んでいます。一番のお気に入りには「奥会津の生き物たち」のこの情報誌が届くその日一日ルンルンです。(会津若松市 O.Sさん)

●「奥会津だよりの」あたたかな息吹に触れると、自然に心が和みます。表紙の写真や「子どものいる風景」、添えられている詩のようなことは、なんと素晴らしいことか。携わっている方々の心が伝わってまいります。(茨城県筑西市 S.Hさん)

●昔は共存していたはずの生き物や植物。昔あったはずの風景が消えていく現在…。それらが残っている里山を大切にしていかなければならないと痛感します。(伊達市 O.Kさん)

奥会津だよりの
定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津アドベンチャー

七福コレクションIII

2017.4.29(土) → 2018.2.28(水)

●前年度の「食」「温泉」「謎解き」「体験」に「写真」を加えた5つのスタンプを集めるスタンプラリーです。

集めたスタンプの数によって先着でオリジナルグッズがもらえます。また、3つ以上の町村クリアで、豪華賞品のもらえる抽選に応募できます。

奥会津イベント情報

6月～7月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
6月3日(土)	うつくしま・みずウオーク2017赤べこの里やないづ大会	柳津町	道の駅会津柳津	柳津町役場観光商工班 ☎0241-42-2114
6月3日(土)～18日(日)	第12回帯釈山・台倉高山「オサバ草まつり」	檜枝岐村	馬坂峠登山口	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
6月4日(日)	志津倉 山開き	三島町	志津倉山登山口(三島町間方)	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
	御神楽岳 山開き	金山町	金山町役場前駐車場集合	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
	第21回塩沢・山の幸山菜まつり	只見町	塩沢農村公園	塩沢観光わらび園 ☎090-8424-4030
蒲生岳 山開き	蒲生集会所施設「雪の里」		只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250	
6月10日(土)	ひめさゆり祭オープニングイベント	南郷地域	会津高原南郷スキー場	南会津町観光物産協会南郷支部 ☎0241-64-5811
6月10日(土)～11日(日)	第31回ふるさと会津工人まつり	三島町	三島町生活工芸館	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
	てわっさの里まつり		宮下地区	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
6月11日(日)	会津朝日岳 山開き	只見町	赤倉沢登山口	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	南郷ひめさゆりバイクミーティング	南郷地域	会津高原南郷スキー場	南会津町観光物産協会南郷支部 ☎0241-64-5811
6月17日(土)	尾瀬国立公園田代山 山開き	館岩地域	田代山猿倉登山口	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
	檜枝岐釣り大会	檜枝岐村	檜枝岐川	檜枝岐村漁業協同組合(☎0241-72-8005 商工会)
6月17日(土)～18日(日)	会津高原チロリアンフェスタ	館岩地域	会津高原地区	チロリアンフェスタ実行委員会 ☎0241-78-3075 (P.ワインズ)
	只見山菜満喫号	只見町	只見駅	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
6月17日(土)～23日(金)	ひめさゆり早朝撮影会	南郷地域	高清水自然公園ひめさゆり群生地	南会津町観光物産協会南郷支部 ☎0241-64-5811
6月18日(日)	只見町雪むらまつり&キャンドルナイト	只見町	只見駅前広場	只見町雪むら実行委員会 ☎0241-83-1733
	七ヶ岳 山開き	館岩地域	会津アストリアロッジ前	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
6月24日(土)	エクストリームシリーズ尾瀬街道伊南大会	伊南地域	伊南総合支所前スタート	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
6月25日(日)	浅草岳 山開き	只見町	只見沢登山口	只見町観光まちづくり協会 ☎0241-82-5250
	湯ノ岐川溪流釣り大会	館岩地域	湯ノ花温泉	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
7月1日(土)	第47回会津駒ヶ岳 夏山開き	檜枝岐村	滝沢登山口	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
7月2日(日)	第16回燧ヶ岳 夏山開き		御池登山口、長英新道登山口、見晴新道登山口	
7月9日(日)	三ツ岩岳 山開き	伊南地域	三ツ岩岳登山口受付	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
7月中旬	伊南川鮎釣り解禁	只見町 南会津町	伊南川	南会津西武非出資漁業協同組合 ☎0241-72-2110
7月17日(月・祝)	走ってみっべ南会津	館岩地域	南会津町(館岩・伊南・南郷地域)	会津高原リゾート(株) ☎0241-78-3099
7月22日(土)～23日(日)	第32回からむし織の里フェア	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	からむし織の里フェア実行委員会 ☎0241-57-3700
7月29日(土)	伊南川清流まつり2017	伊南地域	伊南川河川敷(伊南川橋下流)	実行委員会事務局 ☎0241-76-2310 (上台の喜)
	会津高原たてい夏まつり	館岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
7月30日(日)	こども溪流まつり		しらかば公園	



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
 発行日：5月19日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
<http://www.okuaizu.net> E-mail: webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。